

計量計測展 INTERMEASURE 2022

開催結果報告書

2022年11月

一般社団法人 日本計量機器工業連合会

はじめに

INTERMEASURE 2022（第30回計量計測展）は、2022年9月14日（水）から16日（金）の3日間、東京ビッグサイトにおいて開催されました。

4年ぶりの開催となる今回は、「はかる・調べるフォーラム2022」として、総合検査機器展、SENSOR EXPO JAPAN、SUBSEA TECH JAPANの3展示会と一体感を増し、モノ・コトの見える化・数値化に関する技術を発信する展示会となり、会期中は22,155名にご来場いただきました。

INTERMEASURE 2022単体としても64社・団体・研究機関・大学から最新鋭の計量計測機器及びその技術等が展示、紹介され、来場者は9,198名を数え、計量計測機器及びその技術への関心の高さが窺えた展示会となりました。

今日、計量計測機器及びその技術は、DXやAI等の進展とも相まって、産業、社会における基盤要素としてその重要性は一段と増してきております。また、社会全体として、SDGsやカーボンニュートラルに向けた取り組みが活発になっており、持続可能な社会の構築には計量計測業界も重要な役割を担っているところです。INTERMEASURE2022では、こうした産業界及び社会の要請に沿うべく「HAKARUと創るサステナブルな未来」をテーマに、研究開発用、知的基盤用、品質管理用あるいは省力化、省エネ、環境保全機器として使用される最先端の計量計測機器・システム等を多数展示したほか、大学・研究機関から計量計測に係る最先端技術、基盤技術、情報等の紹介をいただきました。

本会期中は、基調講演、技術説明会、計測標準フォーラム、NMIJ法定計量セミナー、さらには本会創立70周年並びに本展示会開催30回を記念した企画展示なども開催し、多彩な情報発信も行いました。

このように会期3日間は多くの話題を提供するとともに、活発な商談と情報交換が行われ、当初の目的を達成して盛況裡のうちに終了することができました。これも偏に出展いただきました各位、ご後援、ご協賛いただきました関係省庁、諸機関・団体の絶大なご支援、ご協力の賜物と厚く御礼を申し上げる次第であります。

ここに本展の開催結果を取りまとめご報告申し上げますので、ご高覧いただくとともに、今後とも関係各位のより一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

一般社団法人 日本計量機器工業連合会
INTERMEASURE 2022実行委員長
榎本晋虎

I 開催概要

1. 名称

INTERMEASURE 2022 (第30回計量計測展)
Measurement, Test & Control Technology Show 2022

2. 主催

一般社団法人日本計量機器工業連合会

3. 後援

経済産業省
文部科学省
独立行政法人製品評価技術基盤機構

環境省
国立研究開発法人産業技術総合研究所
独立行政法人日本貿易振興機構

4. 協賛

一般財団法人化学物質評価研究機構	一般社団法人火力原子力発電技術協会
一般財団法人機械振興協会	公益社団法人計測自動制御学会
一般財団法人省エネルギーセンター	一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会
石油連盟	一般社団法人セメント協会
一般社団法人全国 LP ガス協会	一般社団法人全国清涼飲料工業会
全国石油商業組合連合会	一般社団法人全国燃料協会
一般社団法人電子情報技術産業協会	一般社団法人日本アルミニウム協会
一般社団法人日本印刷産業機械工業会	一般社団法人日本科学機器協会
公益財団法人日本科学技術振興財団	一般社団法人日本化学工業協会
一般社団法人日本果汁協会	一般社団法人日本ガス協会
公益社団法人日本缶詰びん詰レトルト食品協会	一般社団法人日本機械学会
一般社団法人日本機械工業連合会	一般社団法人日本計量振興協会
公益社団法人日本下水道協会	一般社団法人日本下水道施設業協会
一般社団法人日本検査機器工業会	一般社団法人日本建設機械施工協会
一般社団法人日本建設機械工業会	一般社団法人日本航空宇宙工業会
一般社団法人日本工作機械工業会	一般社団法人日本産業機械工業会
一般社団法人日本自動車部品工業会	日本商工会議所
一般社団法人日本食品機械工業会	一般社団法人日本植物油協会
公益社団法人日本水道協会	日本スーパーマーケット協会
一般社団法人日本造船工業会	日本チェーンストア協会
一般社団法人日本鉄鋼連盟	一般社団法人日本鉄道車輛工業会
一般社団法人日本電気協会	日本電気計器検定所
一般社団法人日本電機工業会	一般社団法人日本乳業協会
一般社団法人日本農業機械工業会	一般社団法人日本船用工業会
公益財団法人日本発明振興協会	一般社団法人日本パン工業会
一般社団法人日本非破壊検査工業会	日本百貨店協会
一般財団法人日本品質保証機構	公益社団法人日本プラントメンテナンス協会
一般社団法人日本フルードパワー工業会	一般社団法人日本粉体工業技術協会

一般社団法人日本ベアリング工業会
一般社団法人日本木工機械工業会
一般社団法人日本ロボット工業会
一般財団法人流通システム開発センター

一般社団法人日本包装機械工業会
一般社団法人日本冷凍空調工業会
一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会
公益社団法人ロングライフビル推進協会

5. 会期

2022年9月14日（水）～16日（金）

- ・ 搬入、装飾等施工：9月12日（月）、13日（火）
- ・ 搬出、装飾等撤去：9月16日（金）閉会后

6. 開場時間

10：00～17：00

7. 会場

東京ビッグサイト（有明・東京国際展示場）西1ホール
東京都江東区有明3-11-1
電話 03-5530-1111

8. 開催規模

展示面積：4,800㎡
出展者数：64社・団体・機関
出展小間数：160小間

9. 展示内容

ものづくり、社会インフラ、品質・工程管理、試験・検査、医療・ヘルスケアで使用される
計量計測機器、関連機器、システム、ソフトウェア、アプリケーション、サービス等

10. 併催事業

基調講演
計測標準フォーラム
アカデミープラザ
企画展示・特別セミナー

出展製品・技術説明会
NMIJ 法定計量セミナー
計量計測業界周知講演・セミナー

11. 同時開催

SENSOR EXPO JAPAN 2022
SUBSEA TECH JAPAN 2022
第24回自動認識総合展

第11回総合検査機器展（JIMA 2022）
地盤技術フォーラム2022
第3回次世代森林産業展

II 開催結果概要

1. 展示規模

出展者数：64社・団体・機関

出展小間数：160小間

2. 出展企業、機関、団体

旭計器工業(株)	アンリツ(株)	(株)イシダ
(株)イー・アンド・デイ	(株)オーバル	鎌長製衡(株)
(株)共和電業	(株)クボタ	(株)ケツト科学研究所
(有)三協インターナショナル	JFE アドバンテック(株)	(株)島津製作所
(株)昭和測器	神栄テクノロジー(株)	新光電子(株)
(株)ソニック	(株)竹中製作所	(株)タツノ
(株)田中衡機工業所	(株)タニタ	(株)チノー
東京計器(株)	東京計装(株)	トキコシステムソリューションズ(株)
(株)トミナガ	長野計器(株)	(株)ナガノ計装
(一社)日本計量振興協会	日本フローセル(株)	兵田計器工業(株)
(株)フクダ	(株)双葉測器製作所	(株)村上衡器製作所
大和製衡(株)	ヤマヨ測定機(株)	(株)イージーメジャー
(株)大手技研	KOA (株)	高分子計器(株)
国立研究開発法人 産業技術総合研究所		santec (株)
湿度、水分計測・センサ研究会	(独) 製品評価技術基盤機構認定センター	
(株)センシズ	(株)テクトロニクス&フルーク	(株)テクネ計測
トウプラスエンジニアリング(株)	(株)ナガノ	(株)日本計量新報社
(一財)日本品質保証機構	(株)ノア	(一社) PHR 普及推進協議会
(株)ビートセンシング	マキシメーター・フルード・テクノロジーズ(株)	
静岡大学	国立研究開発法人情報通信研究機構	
(株)信州 TLO	大学知財群活用プラットフォーム	
東京電機大学	東京都市大学	東京都立大学
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構		明治大学

3. 来場者

	INTERMEASURE	JIMA	SENSOR	SUBSEA	はかる・調べる フォーラム
9月14日(水) 晴れのち曇	2,350名	2,385名	1,136名	321名	6,192名
9月15日(木) 晴れ時々曇	2,842名	2,725名	1,346名	449名	7,362名
9月16日(金) 晴れ	4,006名	2,625名	1,482名	488名	8,601名
合計	9,198名	7,735名	3,964名	1,258名	22,155名

「はかる・調べるフォーラム」はINTERMEASURE、JIMA、SENSOR EXPO JAPAN、SUBSEA TECH JAPANの4展示会の総合名称。来場者数は各展の合計数。

4. 併催事業

4.1 基調講演

9月14日(水)、レセプションホールにおいて、基調講演を次のとおり開催した。

時 間	テーマ、講師
10:15~12:00	テーマ：「我が国製造業の動向と今後の課題」 講 師：経済産業省製造産業局産業機械課 課長補佐 池田 秀俊氏
	テーマ：「異業種から研究者へーロコモティブシンドロームに打ち勝つロボット開発ー」 講 師：女優・経営者・研究者 いたう まい子氏

4.2 出展製品技術説明会

9月14日(水)~16日(金)の3日間、西1ホール内セミナー会場Bにおいて、出展製品・技術説明会を次のとおり開催した。

9月14日(水)

時 間	テーマ	発表企業
13:30~13:50	過酷な環境で使用できる「光学式圧力センサ」のご紹介	長野計器(株)
14:10~14:30	強まる環境規制！高感度/高精度EDXがその課題解決に貢献します～ RoHS指令等のEDXでの管理方法を徹底解説～	(株)島津製作所
14:50~15:10	天然ガス用マルチパス超音波流量計	東京計装(株)
15:30~15:50	AMRアナログメーター可視化サービス	旭計器工業(株)

9月15日(木)

時 間	テーマ	発表企業
13:30~13:50	デジタル情報化に対応した圧力計測機器のご紹介	長野計器(株)
14:10~14:30	自動排出機構付卓上データウェイ™ TSD-N3™シリーズの特徴について	大和製衡(株)
14:50~15:10	表層検査の見える化へ、超音波光探傷装置 MIV-Xのご紹介	(株)島津製作所
15:30~15:50	産業界のニーズに応える JQA の認定校正 ～ ISO/IEC 17025対応 新規取扱品目のご案内～	(一財)日本品質保証機構

9月16日(金)

時 間	テーマ	発表企業
12:50~13:10	DX・IoTを実現するモニタリング技術のご紹介	長野計器(株)
13:30~13:50	3Dスキャニングデータを活用したカスタム自動計測システムの構築	(株)ノア
14:10~14:30	近赤外線による水分と多成分測定	(株)ケツト科学研究所
14:50~15:10	世界最高感度の光学三次元測定器 OPS-1000 材料、形状、色、表面状態を問わず、非接触・高速・高精度測定が可能	santec(株)
15:30~15:50	分析天びんで、正確・効率的に秤量するために大切なこと	(株)島津製作所

4.3 国立研究開発法人産業技術総合研究所（NMIJ）との共催フォーラム及びセミナー

(1) 計測標準フォーラム

9月15日（木）、会議棟6階「605及び606会議室」において、計測標準フォーラム第20回講演会「未来を創る情報通信技術と計量標準・計測—ポスト5G/6Gに向けて—」を次のとおり開催した。

時 間	テーマ、講師
13:00~13:10	【開会の挨拶】 片桐 拓朗氏（一財）日本品質保証機構 常務理事（計測標準フォーラム代表） 【来賓挨拶】 大崎 美洋氏 経済産業省 産業技術環境局 計量行政室長
13:10~13:20	【イントロダクション】 講 師：臼田 孝氏 産業技術総合研究所 計量標準総合センター総合センター長
13:20~13:50	【基調講演】「Beyond 5G/6G 時代の未来像、及びその実現へ向けた研究開発戦略と取り組み」 講 師：竇迫 巖氏 情報通信研究機構 Beyond5G 研究開発推進ユニット長
13:50~14:15	【講演】「光 MOD による基板・導体接合界面の平坦化、接合技術」 講 師：土屋 哲男氏 元 産業技術総合研究所 製造技術研究部門 副研究部門長 (現 経済産業省 産業技術環境局 研究開発課 研究開発企画調査官)
14:30~14:55	【招待講演】「5G の高度化と6G に向けた最新の取り組み」 講 師：須山 聡氏 (株)NTT ドコモ 6G-IOWN 推進部 担当部長
14:55~15:20	【招待講演】「第5世代移動通信システムの標準と基準認証制度における試験・校正の実際」 講 師：富樫 浩行氏 (株)ディーエスピーリサーチ 認証・技術 所管担当部長
15:20~15:45	【講演】「次世代通信技術を支える計量標準・計測技術」 講 師：木下 基氏 産業技術総合研究所 計量標準総合センター 物理計測標準研究部門 高周波標準研究グループ 研究グループ長
15:45~15:50	【閉会の挨拶】 竹歳 尚之氏 産業技術総合研究所 計量標準総合センター 計量標準普及センター センター長（計測標準フォーラム副代表）

(2) NMIJ 法定計量セミナー

9月16日（金）、会議棟6階「605及び606会議室」において、NMIJ 法定計量セミナー「単位の定義が創る計量標準の信頼性と特定計量器の信頼性」を次のとおり開催した。

時 間	テーマ、講師
13:30~13:35	【開会挨拶】 大田 明博氏 産業技術総合研究所 計量標準総合センター工学計測標準研究部門長
13:35~13:40	【来賓挨拶】 大崎 美洋氏 経済産業省 産業技術環境局 計量行政室長
13:40~13:50	【概要紹介】 三倉 伸介氏 産業技術総合研究所 計量標準総合センター計量標準普及センター法定計量管理室長
13:50~14:20	「新しいキログラムの定義とキログラム原器の重要文化財指定」 講 師：倉本 直樹氏 産業技術総合研究所 計量標準総合センター 工学計測標準研究部門 質量標準研究グループ長
14:20~14:50	「分銅の JCSS 校正」 講 師：村上 昇氏 (株)村上衡器製作所 代表取締役
15:05~15:35	「各国における基準器の取扱いについて」 講 師：伊藤 武氏 産業技術総合研究所 計量標準総合センター 工学計測標準研究部門 質量計試験技術グループ 研究グループ長 (OIML-CS MC メンバー)
15:35~15:55	法定計量トピックス：「自動はかりの規制を含めた法令改正について」 講 師：横山 康之氏 経済産業省 産業技術環境局 計量行政室 室長補佐
15:55~16:00	【閉会挨拶】 根本 一氏 産業技術総合研究所 計量標準総合センター 工学計測標準研究部門総括研究主幹

4.4 アカデミープラザ（大学・研究機関出展）

(1) 出展数

出展者数：9大学・研究機関

小間数：9小間

(2) 出展大学・機関

静岡大学	国立研究開発法人情報通信研究機構	
(株)信州 TLO	大学知財群活用プラットフォーム	
東京電機大学	東京都市大学	東京都立大学
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構		明治大学

(3) プレゼンテーション

アカデミープラザにおいて、次の6テーマについてプレゼンテーションが行われた。

9月14日（水）	発表者	プレゼンテーマ
14：30～14：50	国立研究開発法人 情報通信研究機構	周波数国家標準と日本標準時の供給
15：00～15：20	明治大学	熱溶解積層方式による成形品の寸法のばらつき評価と寸法最適化に対する成形条件の影響
15：30～15：50	国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構	耐熱歪センサの開発と応用

9月16日（金）	発表者	プレゼンテーマ
14：30～14：50	大学知財群活用プラットフォーム	大学知財群活用プラットフォーム（PUIP）及び最新の計測・センサ技術のご紹介
15：00～15：20	静岡大学	AIによる機械の異常時に発生する異音の定量化
15：30～15：50	東京電機大学	①指示薬が溶けださない何度でも計測可能な食品・農業・環境に適した pH センサ ②ボールレンズを利用した光学式傾斜計

4.5 企画

次の企画を西1ホール内特設会場において実施した。

(1) パネル展示「今後ますます活躍が期待される自動はかり」

経済産業省の自動はかり4器種の概要紹介のほか、以下の出展企業による「自動はかり」の主力製品を紹介した。

経済産業省	アンリツ(株)	(株)イシダ
(株)イー・アンド・デイ	鎌長製衡(株)	(株)クボタ
JFEアドバンテック(株)	大和製衡(株)	

(2) パネル展示「HAKARU と創るサステナブルな未来」

計工連創立70周年及び展示会開催30回を記念し、会員企業の社会貢献活動をパネルで紹介した。

愛知時計電機(株)	アズビル(株)	アズビル金門(株)
アトセンス(株)	アンリツ(株)	(株)イシダ
(株)イー・アンド・デイ	(株)オーバル	オムロン(株)
(株)共和電業	(株)クボタ	(株)島津製作所
(株)タツノ	(株)田中衡機工業所	(株)タニタ
(株)チノー	(株)寺岡精工	東京計器(株)
東京計装(株)	東洋計器(株)	(株)トミナガ
長野計器(株)	日新電子工業(株)	(株)日本製衡所
(株)フクダ	(株)プラスワンテクノ	前澤給装工業(株)
(株)ミットヨ	大和製衡(株)	リオン(株)

(3) 特設ブース「はかつて、のぼそう、健康寿命」

血圧計、体組成計、歩数計など健康計測機器の正しい使い方、健康管理の方法を紹介した。

(株)イー・アンド・デイ	(株)タニタ	大和製衡(株)
--------------	--------	---------

(一社)PHR 普及推進協議会

また、9月16日(金)西1ホール内セミナー会場Bにおいて、次の特別セミナーを開催した

時 間	テーマ、講師
10:30~11:15	「生涯型 PHR (パーソナルヘルスレコード) が切り拓く計測機器の未来 ~生涯型 PHR 活用時代の計測機器とは~」 講 師：山本 景一氏 (一社)PHR 普及推進協議会 理事/和歌山医科大学 准教授

4.6 業界周知講演・学生ツアー

9月15日(木)、西1ホール内セミナー会場Bにおいて、業界周知講演及び学生ツアーを次のとおり開催した。

(1) 業界周知講演

時 間	テーマ、講師
11:30~12:00	「コロナ禍で活躍した非接触式温度計と正確さを保証する方法」 講 師：清水 祐公子 氏 国立研究開発法人 産業技術総合研究所 計量標準総合センター 物理計測標準研究部門 光温度計測研究グループ 研究グループ長

(2) 学生ツアー訪問先

(株)オーバル	(株)共和電業	(株)ケツト科学研究所
(株)タツノ	(株)チノー	東京計装(株)

5. 来場者動員対策

5.1 ポスターの作成、掲示依頼

以下のとおりポスターを作成し、関係省庁、協賛団体、試験・検査機関、研究所、学校、ユーザーの工場、出展者等に送付し、掲示依頼を行った。

(1) ポスターサイズ	A1版
(2) 作成部数	800枚
(3) 掲示依頼先	
①出展者	250枚
②後援機関・協賛団体	150枚
③試験研究機関	150枚
④大学	80枚
⑤ユーザー・ディーラー	100枚
⑥その他	70枚
計	800枚

5.2 開催案内状（無料招待券）の作成、配布

以下のとおり開催案内状（無料招待券）を250,000部作成し、出展者を通じて90,000部、事務局より関係省庁、協賛団体、試験研究機関、INTERMEASURE 2018及び2016来場者、大学、ユーザー、ディーラー等に160,000部を郵送等により配布した。

・配布先

出展者 90,000部

事務局送付分 160,000部

関係省庁、協賛団体、試験研究機関、前回・前々回来場者、大学、ユーザー、ディーラー、各国の大使館、広報誌「はかる」送付先等

5.3 広告宣伝

(1) 新聞

産経新聞	9月9日、11日、13日
日刊工業新聞	9月6日
日本計量新報	9月11日
電波新聞	9月14日
夕刊フジ	7月5日、6日、7日、11日、12日、13日、19日、23日、 25日、26日、27日、28日 8月2日、8日、10日、16日、17日、18日、29日 9月2日、5日、7日、8日、9日、14日

(2) Web 広告、メルマガ関係

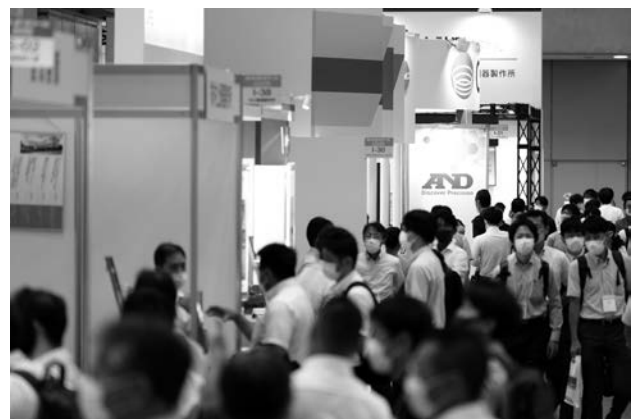
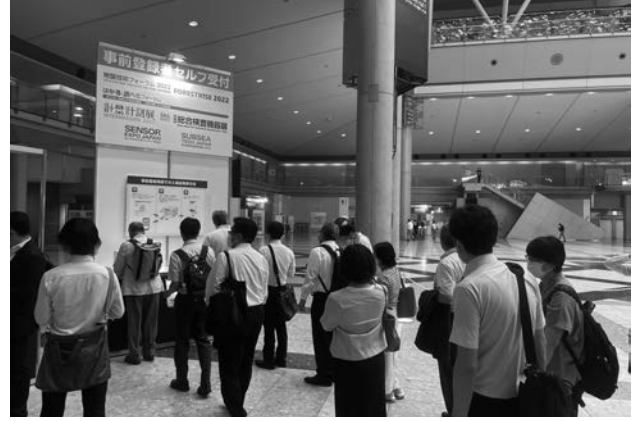
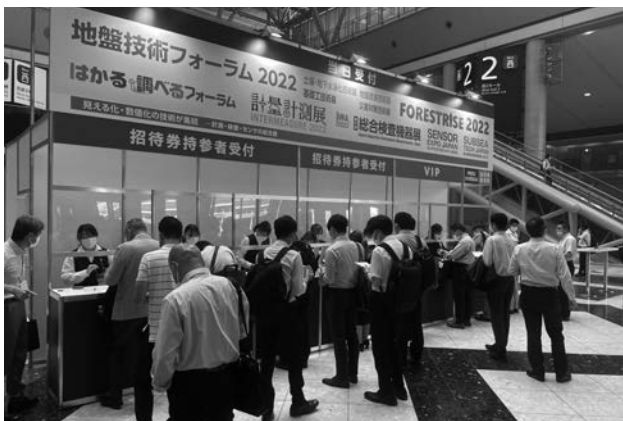
INTERMEASURE 2022ホームページ

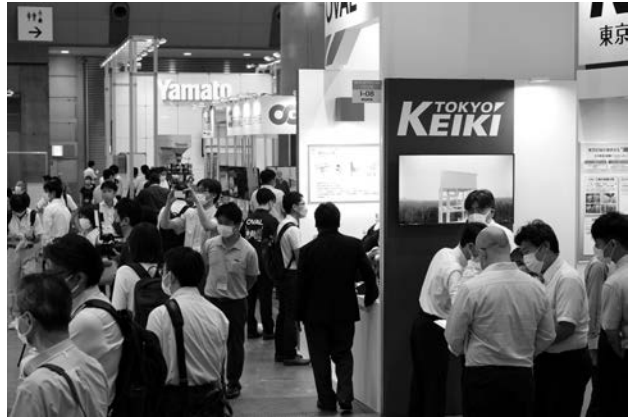
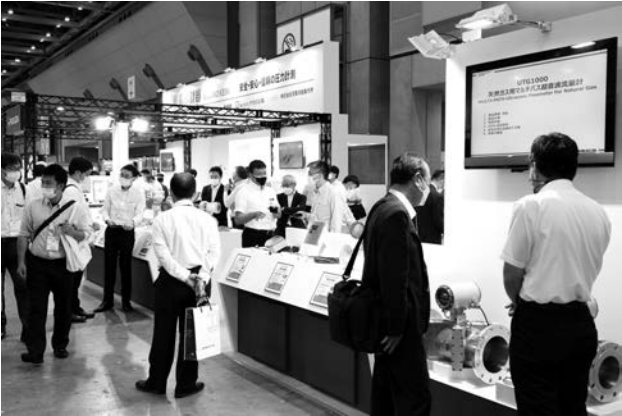
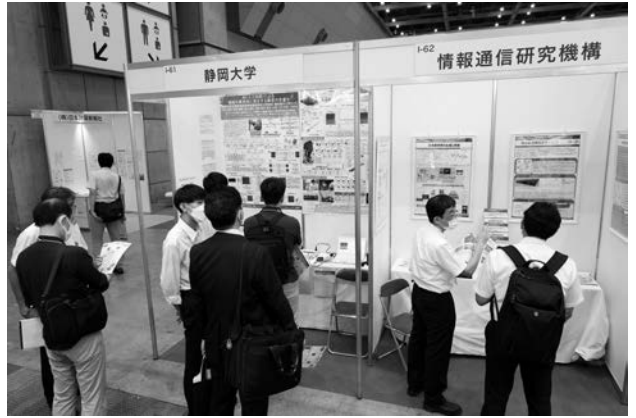
計工連メルマガ

日刊工業新聞メルマガ

PR TIMES

Ⅲ 会場風景

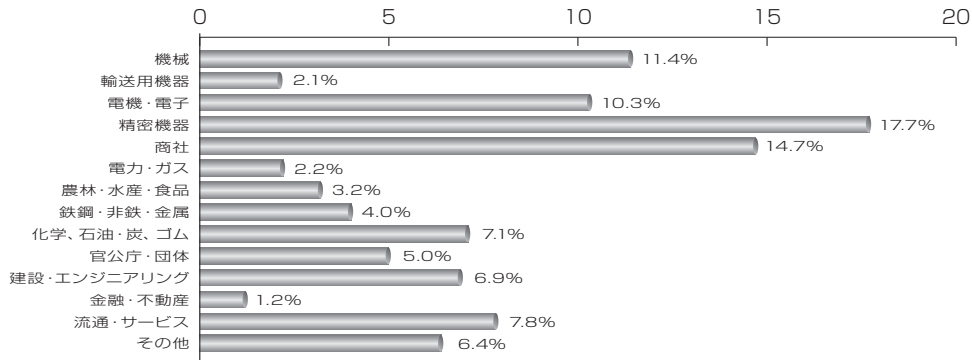




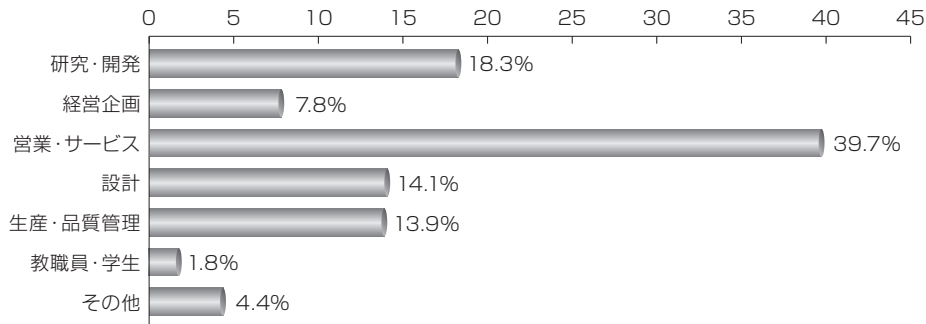
IV 来場者アンケート結果

1. 来場者登録カードの集計結果

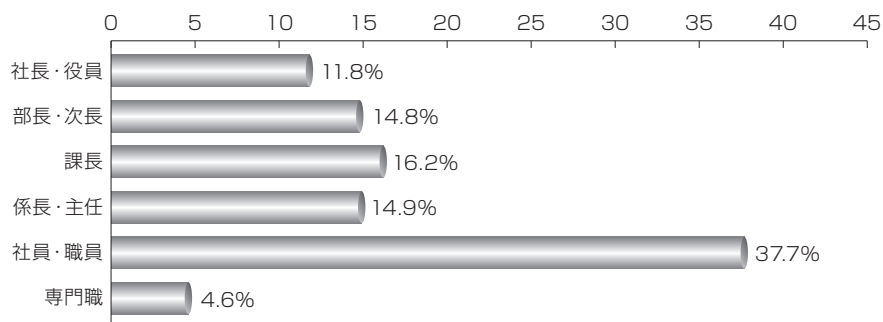
(1) 来場者の業種



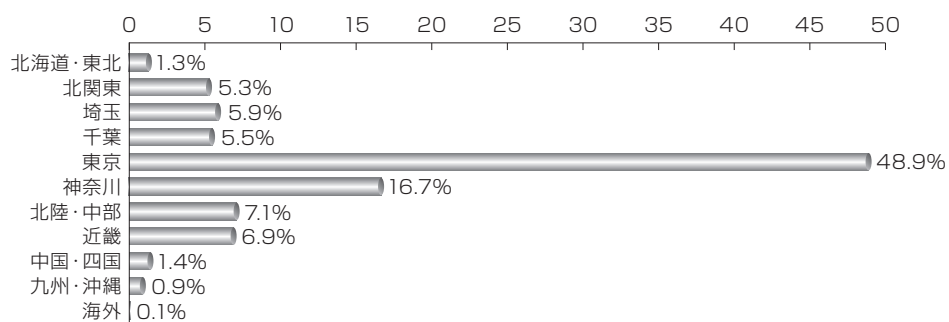
(2) 来場者の職種



(3) 来場者の役職



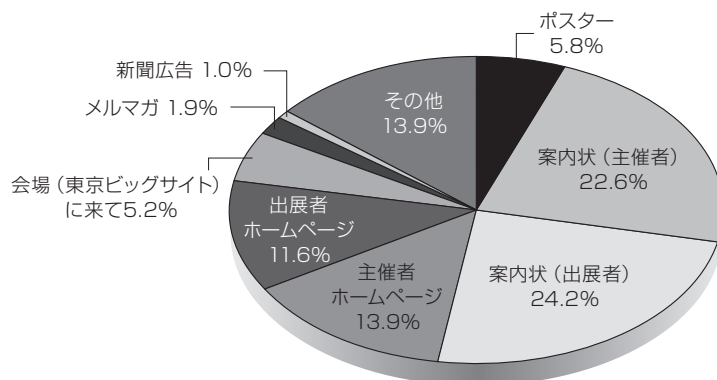
(4) 来場者の地域



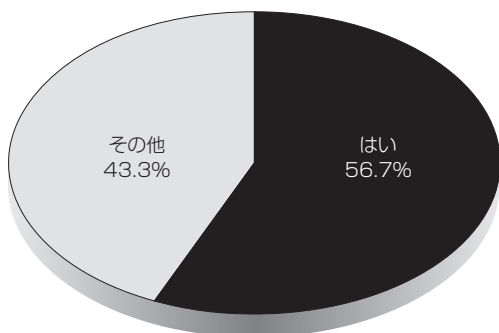
2. アンケート結果

(1) アンケート回収数 290

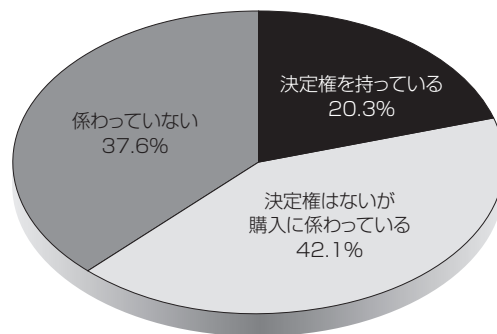
(2) INTERMEASURE 2022の情報を知った方法について



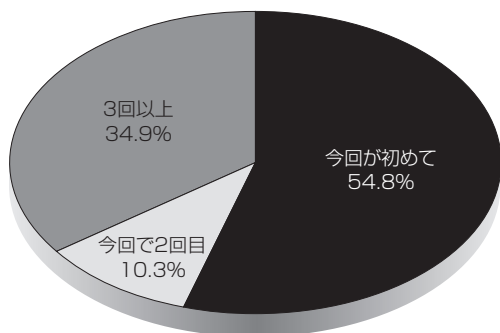
(3) INTERMEASURE の出展製品・技術のユーザーですか



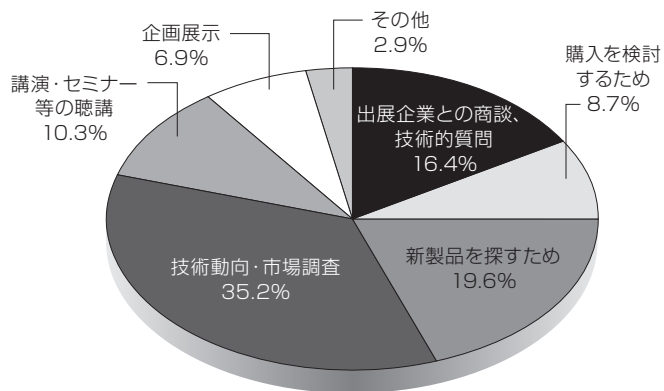
(4) 機器や資材購入の決定権について



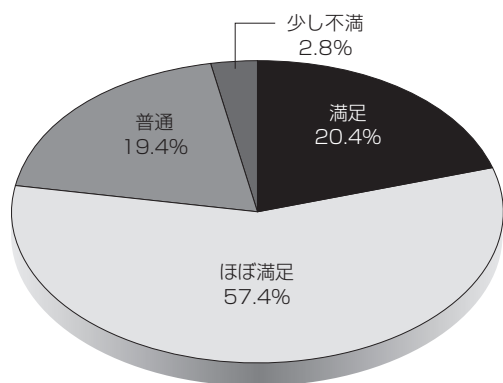
(5) INTERMEASURE への来場回数について



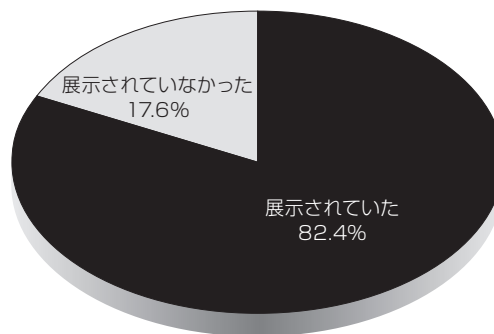
(6) INTERMEASURE への来場目的について



(7) INTERMEASURE を見学した印象について



(8) 見学希望製品の展示状況について



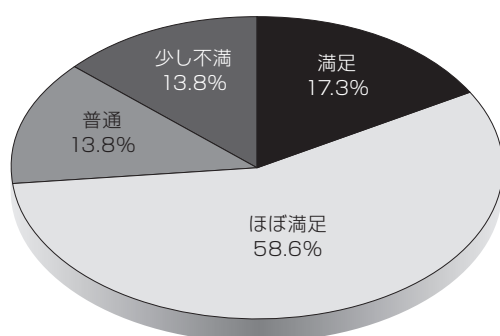
V 出展者アンケート結果

1. アンケート回答数

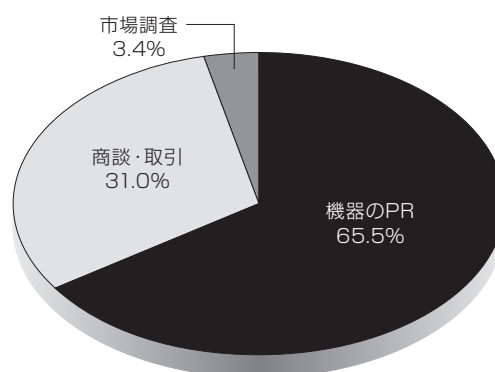
- (1) 対象 39社・機関
- (2) 回答数 29社・機関
- (3) 回答率 74.4%

2. アンケート結果

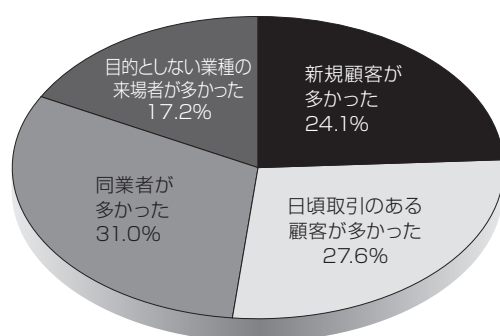
(1) 出展された印象について



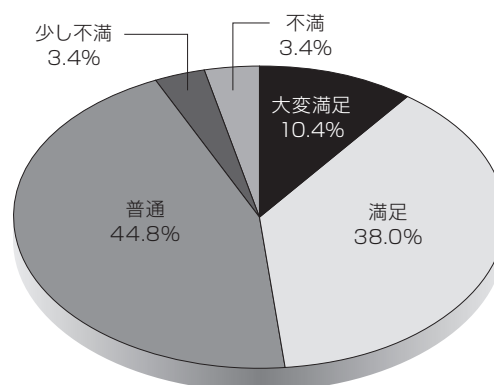
(2) 出展目的として最も重要視する点について



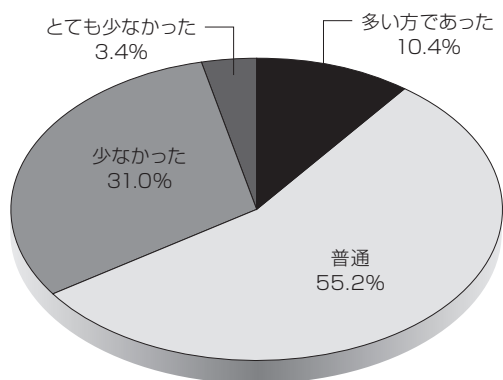
(3) 来場者の層について



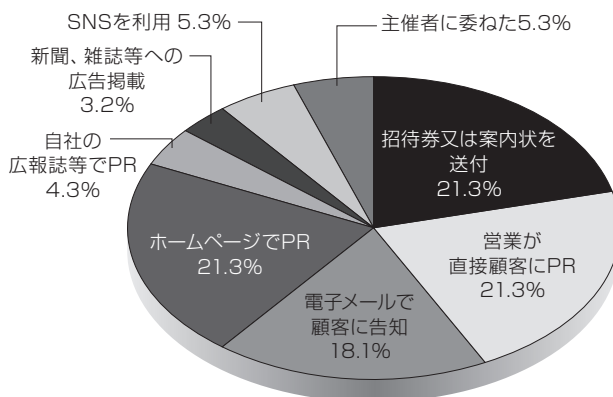
(4) 来場者の層に対する満足度について



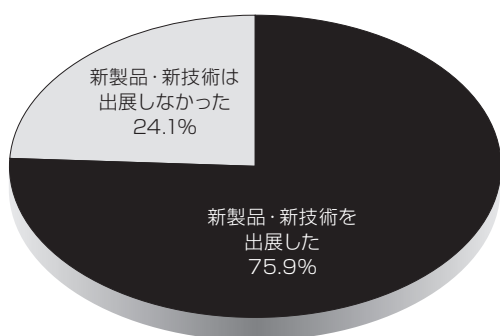
(5) 商談及び商談につながる件数について



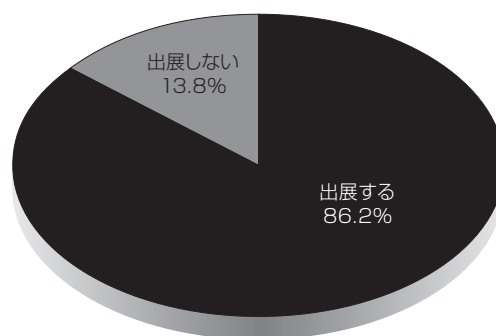
(6) ユーザーへの主なPR方法について



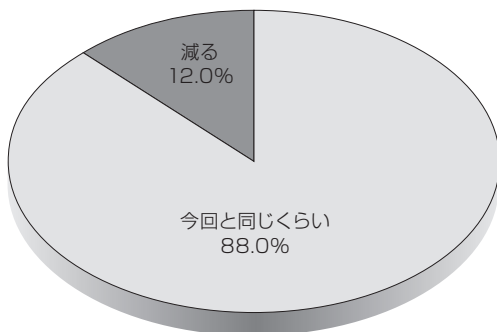
(7) 新製品・新技術の出展について



(8) 次回のINTERMEASUREへの出展意向について



(9) 次回の予定出展小間数について



(10) 貴社が望む来場者の業種について

